

新たな歴史の1ページ

田代中学校と大原中学校の2校を統合した田代中学校の開校式が4月6日に行われました。

開校式では、林教育委員による開校告示、前之園町長職務執行者による式辞などが行われ、生徒を代表して3年生の山野里沙さんが「みんなで助け合ってより良い学校を目指し、明るい笑顔の絶えない学校にしたい。」と決意を述べました。

その後、新しい校歌を斉唱し、校舎前でテープカットが行われ、110人の生徒の新たなスタートが切られました。



神ノ川を泳ぐ鯉のぼり

4月17日、神川上自治会公民館前の神ノ川に70尾あまりの鯉のぼりがあげられました。

この取組みは、神川上自治会の近隣福祉ネットワークの会員が中心となり、子どもの健全な育成を願い、また、観光のPRもかねて行ったものです。

鯉のぼりは、住民の方が昔使用していた物が寄贈されて集まりました。

当日は、鯉のぼりを濡らさないように河川に入るなど苦労もありましたが、皆の願いもかなってさっそうと泳ぐ鯉のぼりの姿が見られました。

自宅で不用になった鯉のぼりの寄贈をしていただける方がおられましたら、宮川正幸さん（神川上Tel22-1053）または企画課までご連絡をお願いします。



あいさつ運動を実施

4月7日から14日にかけて、朝のあいさつ運動を「ばばっ子クラブ」の保護者が行いました。

ばばっ子クラブは、「地域の子どもは地域で育てよう」と馬場地区の子どもや保護者で様々な活動を行っており、今回のあいさつ運動は、春の交通安全運動にあわせ、子どもたちが朝登校するときに事故のないように、地域で見守ろうと実施されました。

期間中は、保護者16人が手作りのタスキを肩に掛け、通学中の生徒に「おはようございます。」と元気に声をかけました。